

I. 調査の概要

I. 調査概要

1. 調査目的

滋賀県における男女共同参画に関する意識と実態を把握し、今後の男女共同参画社会の実現に向けた施策に役立てるための基礎資料とする。

2. 調査の概要

- | | |
|-----------|---------------------------------|
| (1) 調査地域 | 県内全域（全市町から対象者抽出） |
| (2) 調査対象 | 県内在住の20歳以上の男女（県内在住外国人を含む）3,000人 |
| (3) 抽出方法 | 選挙人名簿および外国人登録原票を元に層化二段無作為抽出法 |
| (4) 調査方法 | 質問紙による郵送調査 |
| (5) 調査期間 | 平成26年7月14日～8月13日 |
| (6) 有効回収率 | 49.1%（1,472人） |
| (7) 調査機関 | 株式会社都市・地域プランナーズアソシエイツ |

3. 調査項目

全6項目29問

〈主な調査内容〉

- | | |
|-------------------|--|
| (1) 男女の地位に関する意識 | ・各分野での男女の地位の平等感
・「男性は仕事、女性は家庭」という考え方
・「同感する」、「同感しない」と考える理由
・制度や用語の周知度 |
| (2) 女性の働き方について | ・女性の働き方の理想と現実
・女性が仕事を続けていくために必要なこと
・管理職につく女性の少な最も大きな理由
・女性の活躍が進むのがよい分野・立場 |
| (3) 家庭生活や地域活動について | ・家庭内での男女関わり方（理想・現実）
・男性が家事・育児、介護に積極的に参加するために必要なこと
・男性が地域活動に積極的に参加するために必要なこと |
| (4) 仕事と生活の調和について | ・仕事と生活の調和についての考え方
・「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度
・職場における必要な取組 |
| (5) 女性に対する暴力について | ・DVの経験
・DV相談機関の周知度 |
| (6) 男女共同参画社会について | ・理想の男女共同参画社会の姿
・県立男女共同参画センターの周知度
・県立男女共同参画センターに期待する取組 |

4. 標本構成

(1) 層化

県内の市町を次のように層化した。

- 大津地域 (大津市)
- 湖南地域 (草津市、守山市、栗東市、野洲市)
- 甲賀地域 (湖南市、甲賀市)
- 東近江地域 (近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町)
- 湖東地域 (彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町)
- 湖北地域 (長浜市、米原市)
- 湖西地域 (高島市)

(2) 標本数の配分

各地域、市郡規模の層における20歳以上の人口構成比(注)を基に、3,000人の標本数を比例配分した。その際、各地域とも統計的な信頼度が確保できるように、以下のとおりの抽出ウェイトを設定した。

地域別の抽出数が異なるため、回収数に集計ウェイトを加重し、補正した。調査結果は、この「規正標本数」を基数として集計を行った。

地域	人口	抽出 ウェイト	標本数	有効回収数	集計 ウェイト	規正標本数
大津地域	274,577	1 / 2	699	358	2	716
湖南地域	252,407	1 / 2	643	327	2	654
甲賀地域	119,378	1 / 2	306	143	2	286
東近江地域	187,939	1 / 2	478	222	2	444
湖東地域	124,824	1 / 2	317	134	2	268
湖北地域	131,686	1 / 2	336	161	2	322
湖西地域	86,866	1	221	117	1	117
不明	—	—	—	10	—	10
合計	1,177,677	—	3,000	1,472	—	2,817

5. 調査票の回収結果

有効回収数は49.1%（1,472件）となり、それぞれの地域の回収率は以下のとおりである。

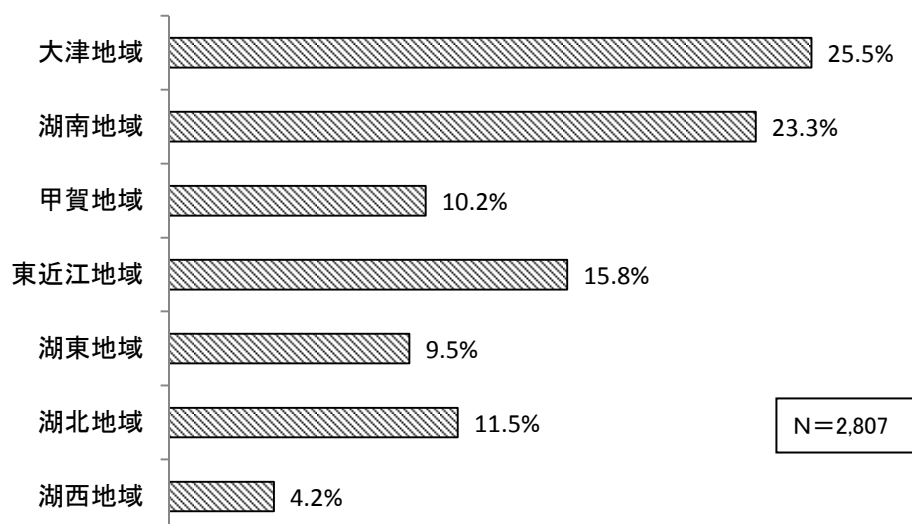
地 域	標 本 数	有効回収数	有効回収率
大津地域	699	358	51.2%
湖南地域	643	327	50.9%
甲賀地域	306	143	46.7%
東近江地域	478	222	46.4%
湖東地域	317	134	42.3%
湖北地域	336	161	47.9%
湖西地域	221	117	52.9%
不 明	—	10	—
合 計	3,000	1,472	49.1%

6. 回答者の属性

ここでは、回答者の属性について、地域別、性別、年代別、性別・年代別、職業別、既婚・未婚別、子どもの就学段階別、家族構成別、居住歴別で結果を示す。

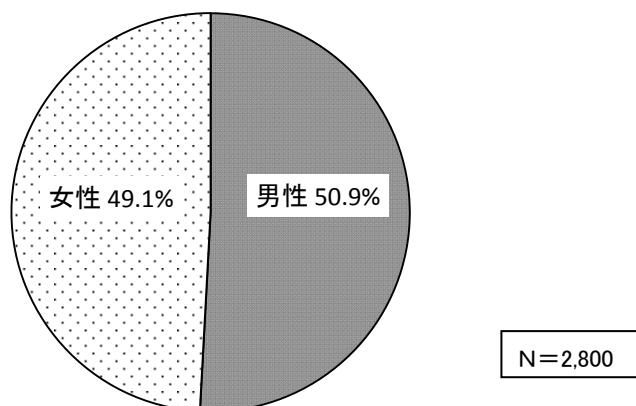
（1）地域別

居住地域は「大津地域」が25.5%と最も多くなっており、次いで「湖南地域」が23.3%となっている。



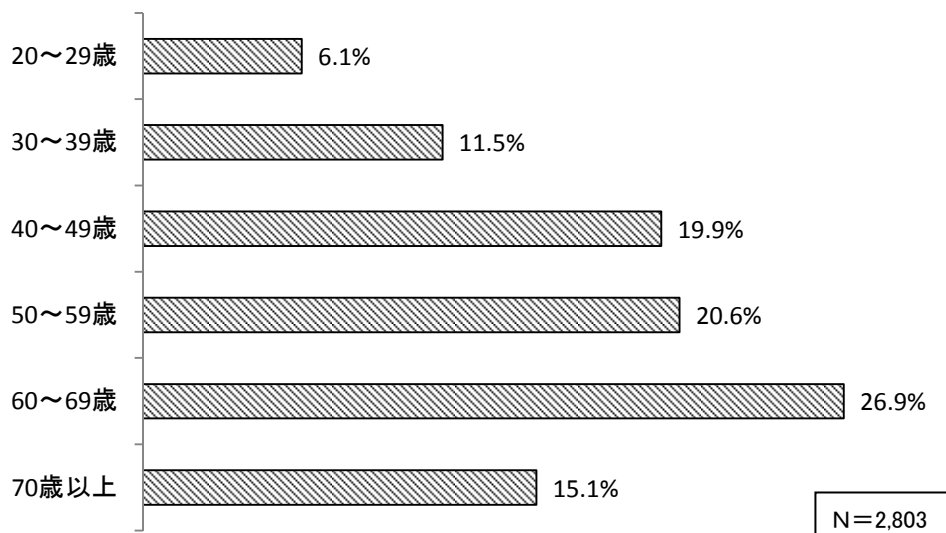
(2) 性別

性別では、「男性」が50.9%、「女性」が49.1%で、男性が女性をやや上回っている。



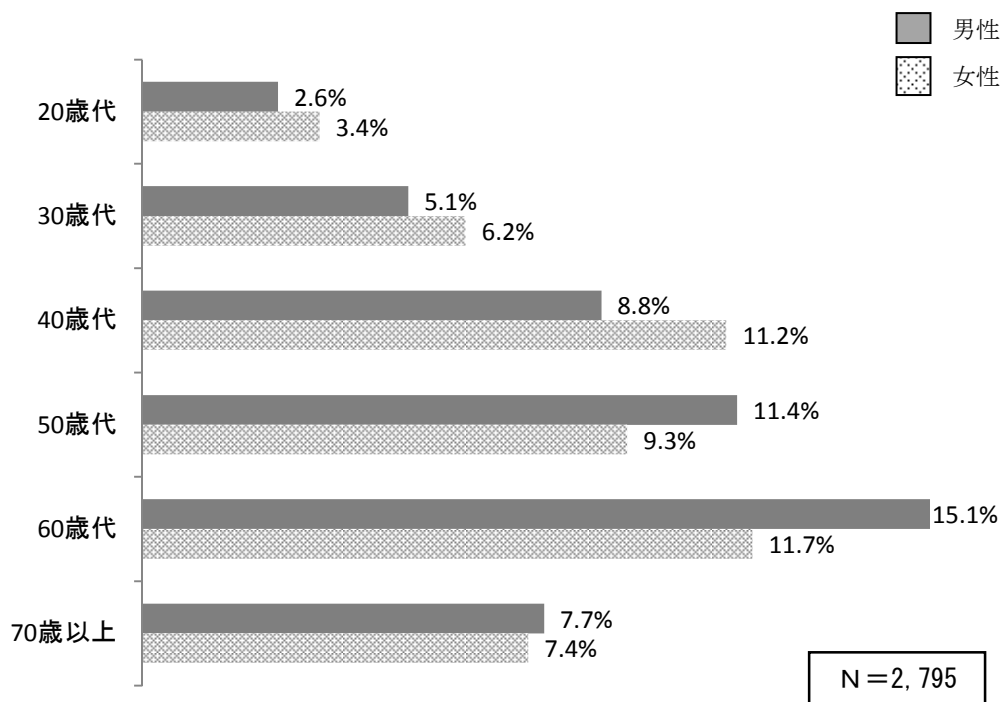
(3) 年代別

年代では「60～69歳」が26.9%と最も多く、次いで「50～59歳」が20.6%となっている。

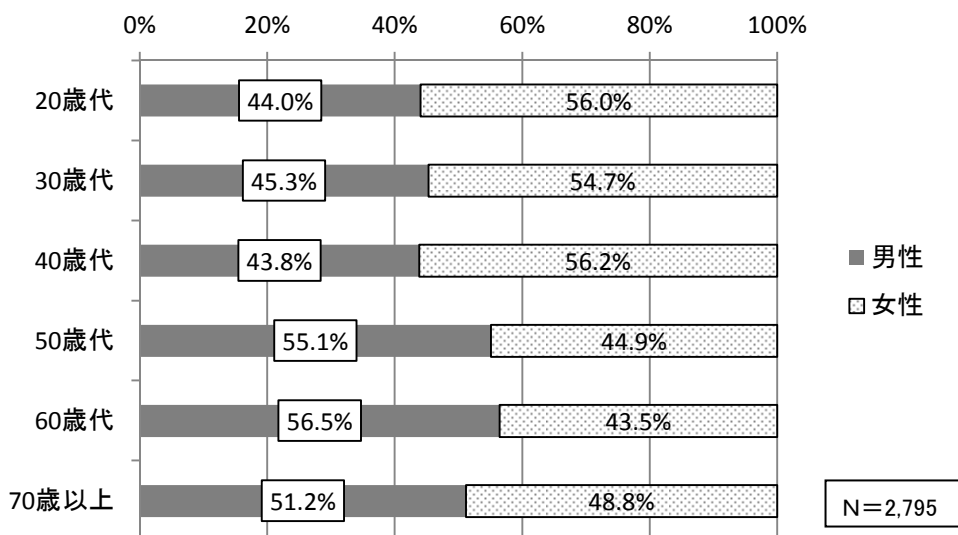


(4) 性別・年代別

性別年代別にみると60歳代の男性が最も多く、次いで60歳代の女性、50歳代の男性、40歳女性となっている。

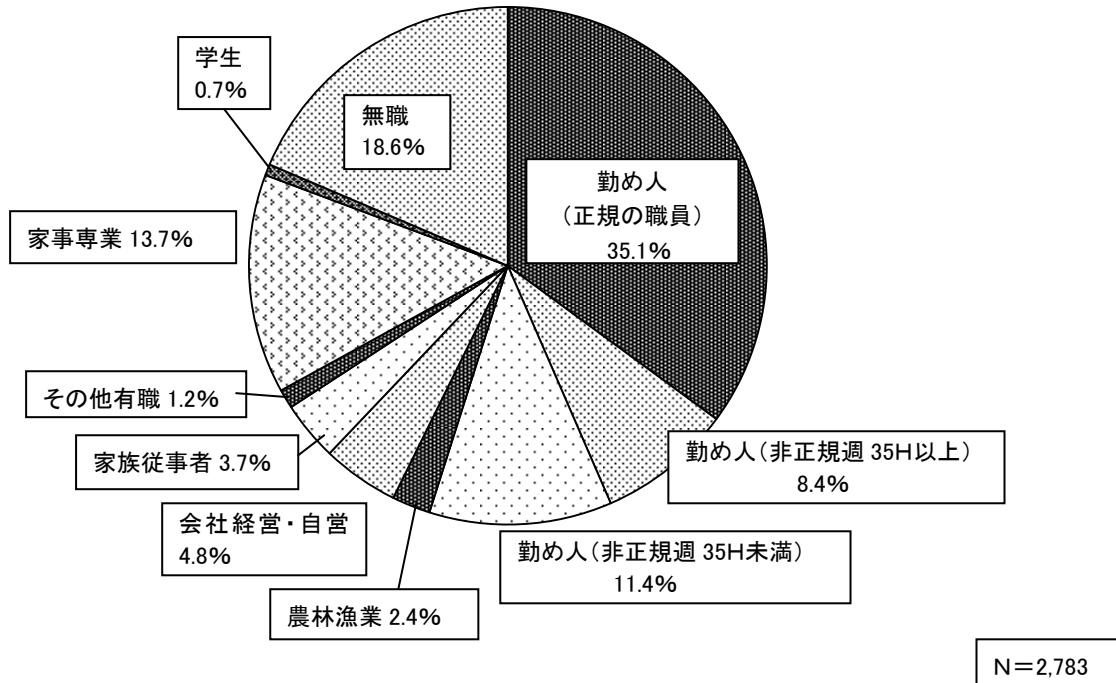


構成別にみると、20歳代～40歳代では女性が男性を上回っているが、50歳代以上では男性が女性を上回っている。



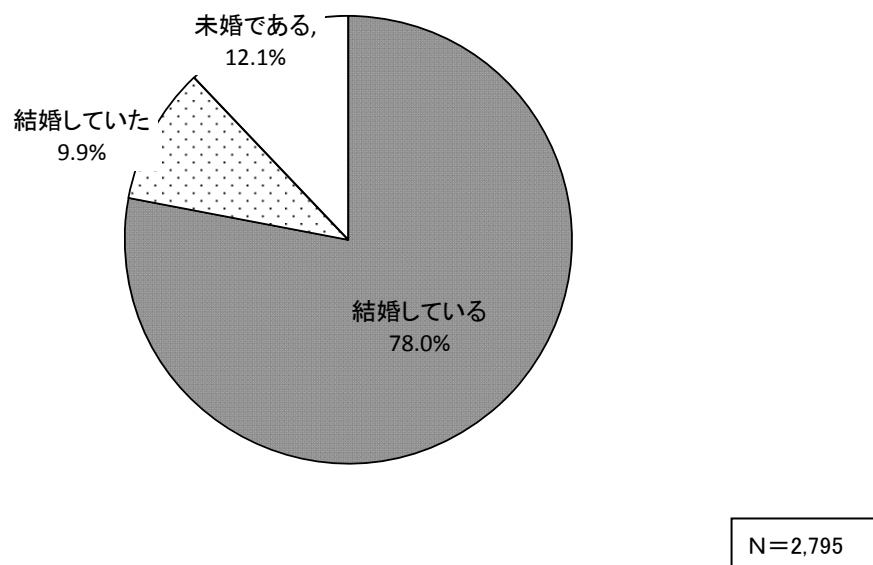
(5) 職業別

職業をみると、『有職』は67.0%であり、そのうち「勤め人(正規の職員・従業員)」が最も多い35.1%となっている。『無職』は全体の33.0%で、そのうち「無職」が18.6%、「家事専業」が13.7%となっている。

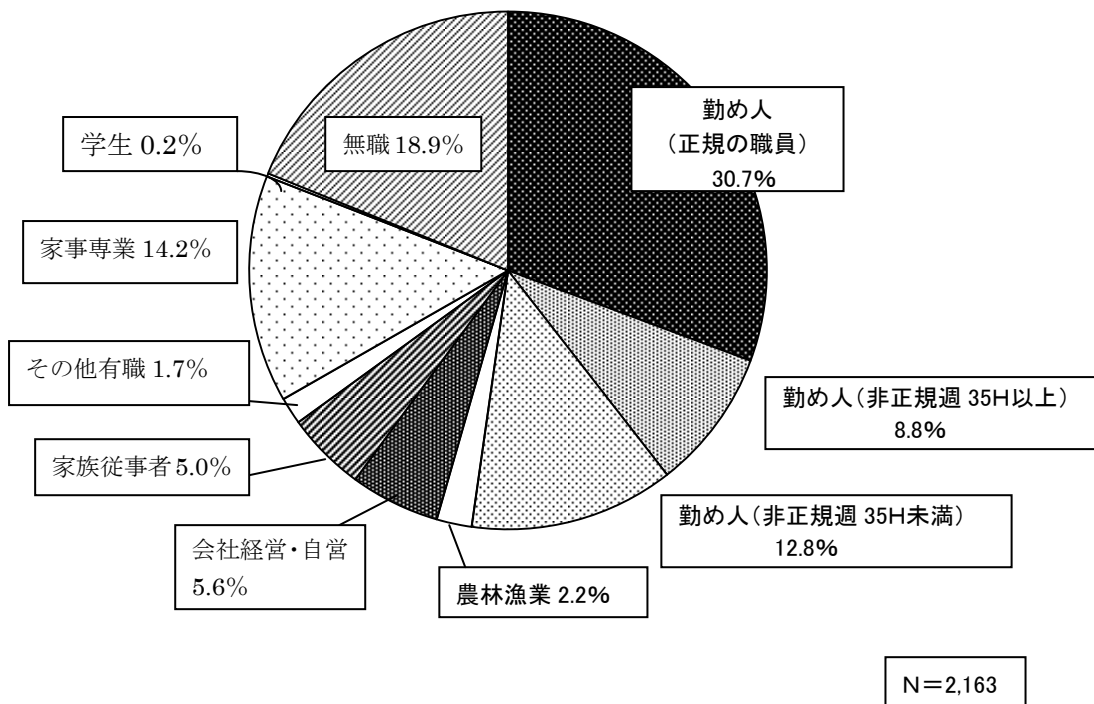


(6) 既婚・未婚

結婚については、「結婚している(配偶者がいる)」が78.0%となっており、「未婚である」は12.1%となっている。

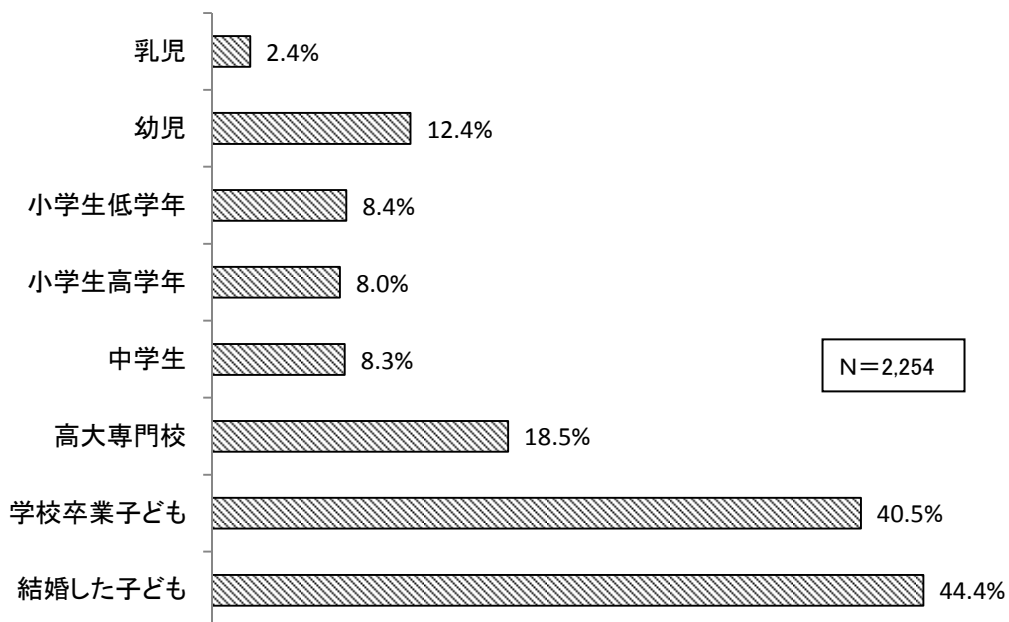


(配偶者の職業)



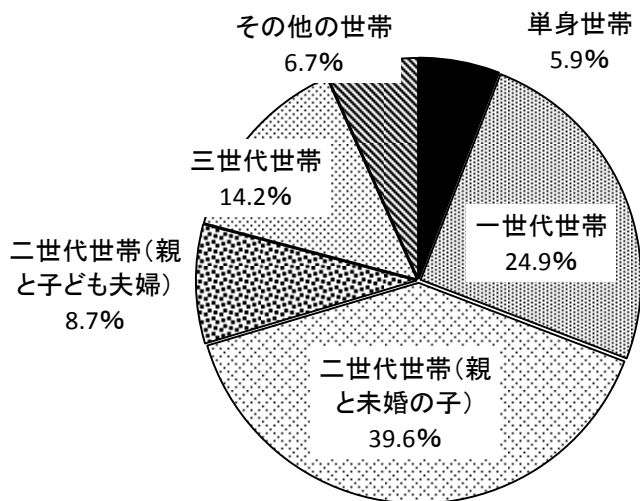
(7) 子どもの就学段階

子どもの就学段階をみると、「結婚した子ども」が最も多い44.4%となっており、次いで「学校を卒業した未婚の子ども」が40.5%が続いている。乳幼児が14.8%、小学生24.7%、中学生8.3%である。



(8) 家族構成

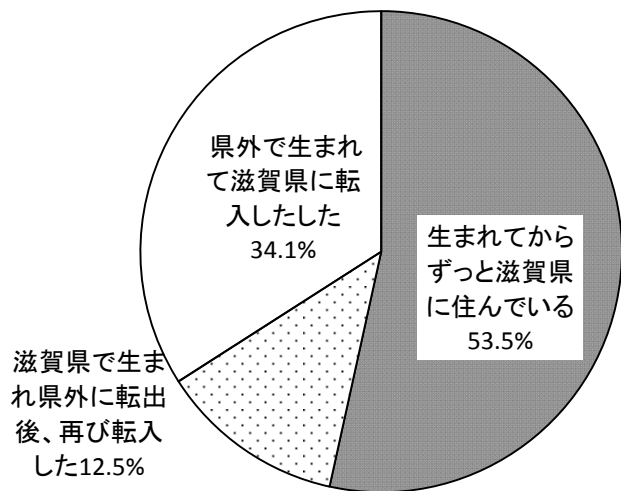
家族構成をみると、「二世世代世帯（親と未婚の子ども）」が39.6%と最も多くなっている。次いで「一世代世帯（夫婦だけ）」が24.9%、「三世世代世帯（祖父母と親と子ども）」が14.2%で、単身世帯は5.9%である。



N=2,786

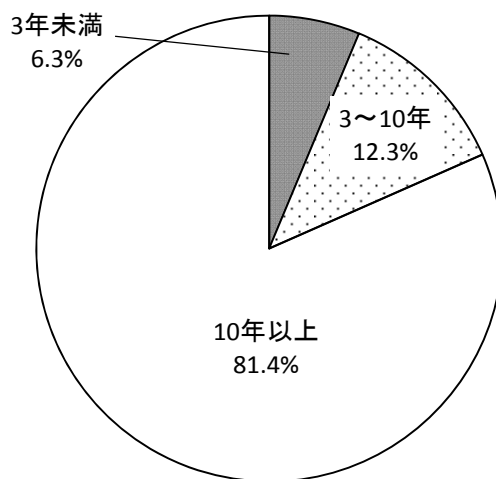
(9) 居住歴別

居住歴をみると、「生まれてからずっと滋賀県に住んでいる」が53.5%と半数以上を占めている。これに次いで「県外で生まれて滋賀県へ転入した」が34.1%となっている。また、「滋賀県で生まれて、県外に転出後、再び転入した」と「県外で生まれて滋賀県へ転入した」人に居住年数をたずねたところ「10年以上」が最も多く、81.4%を占めている。



N=2,789

(転入後の居住年数)



N=1,303